

～11歳・12歳のお子様がいる保護者の方へ～

# DT2期予防接種のお知らせ

○対象年齢：11歳以上13歳未満の者

○接種回数：1回

○接種費用：全額公費負担（無料）

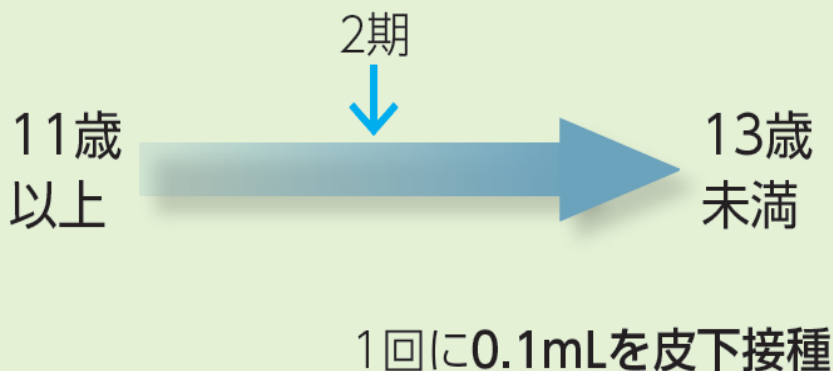
○接種場所：別紙の市内指定医療機関 または  
本島内の地区医師会会員医療機関



(※接種前に予約を行い、必ず親子（母子）健康手帳を持参して下さい。)

## ■DT2期予防接種 接種スケジュール

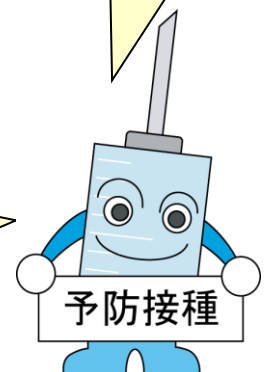
【標準：11歳以上12歳未満】



DT予防接種は、**D(ジフテリア)**と**T(破傷風)**の2つの病気を予防するための予防接種です。

**小学生は学校行事や課外活動等で忙しい**ため、忘れないよう、市からのお知らせが届いたら、早めの接種をお勧めします！

※詳しくは、チラシ裏面をご覧ください。



## DTワクチンで防げる病気って、どんな病気？

### ジフテリア <D>

ジフテリアはジフテリア菌によって起こる病気で、感染者のせき等の飛沫によって、のど等につくことで感染します。(飛沫感染) 感染すると2～5日程度の潜伏期間の後、高熱、のどの炎症・痛み、犬がほえるような咳、激しい嘔吐等の症状が起こります。

重症化すると、のどの炎症・腫れによる気道の詰まりや、ジフテリア菌が発生させる毒素による心筋炎や神経麻痺等が起こり、約10%程度の人が死亡するといわれています。

現在はワクチン接種の効果により、日本国内での患者は発生していませんが、かつて接種率の低下により再流行した国もあるため、今後も予防が必要な病気です。



### 破傷風 <T>

破傷風は土の中に広く分布している破傷風菌が、けがをした際に傷口等から体内に侵入して起こる病気です。4～12日程度の潜伏期間の後、傷口で増殖した破傷風菌が発生させる毒素によって顔の筋肉がけいれんし、口を開くことができない、痙攣(引きつった笑顔のような表情になる)等の初期症状が起こります。処置が遅れ、重症化してしまふと、全身が固まったようなけいれん(強直性けいれん)や後弓反張(体が後ろに大きく弓なりに反り返る)等の症状が起こり、呼吸困難や窒息死に至ることもあります。破傷風菌は世界中どこにでも存在しており、年齢に関係なくだれでも常に感染するリスクがあるため、早めの予防が必要です。

## DTワクチンについて



DTワクチンは、ジフテリア(D)・破傷風(T)の2つの病気を予防するワクチンです。

乳幼児期(生後3ヶ月～1歳児)の頃に接種する3種混合(DPT)ワクチンによる病気を予防する効果が、接種後約10年程度で弱まってくるため、年齢に関わらずかかると危険な上記の2つの病気(特に破傷風)にかからないよう、予防効果を再度強化するために接種が必要なワクチンです。

### DTワクチンの副反応について

DTワクチン接種後に、最も多く見られる副反応は、接種部位の発赤(赤くなる)や硬結(硬くなる)、腫脹(腫れ)等ですが、ほとんどが数日で自然に治ります。また、まれに発熱が見られます。

気になる症状のある時は、早めにかかりつけの医師の診察を受けましょう。



### 予防接種法の健康被害救済制度について

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。健康被害の程度等に応じて、医療費、医療手当、障害児養育年金、障害年金、死亡一時金、葬祭料の区分があり、法律で定められた金額が支給されます。死亡一時金、葬祭料以外については、治療が終了する または 障害が治癒する期間まで支給されます。

ただし、健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因によるものなのかの因果関係を、予防接種・感染症医療・法律等、各分野の専門家からなる国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に補償を受けることができます。

1994年に予防接種法が改正され、1948年に制定されて以来続いていた強制義務接種から個別勸奨義務接種(努力義務接種)に切り替わっています。

そのため予防接種は強制ではありません。

## お問い合わせ先

浦添市保健相談センター 健康づくり課 予防係 TEL 098-875-2100